

科目区分	専門教育科目	科目名	解剖生理学		科目コード	21S370	担当者	井上 靖久			
対象学生	生活創造学科 栄養士コース 1年生	学期区分	後期		単位数	2	担当形態	単独			
		授業形態	講義								
科目		施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	選択				
						免許・資格要件	栄養士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
人体の構造と基礎を論理的に理解し、その両者が緊密に相関していることを理解する。また健康の維持の為に環境の変化に対応していることも合わせて理解する。						1. 「 良心 」 誠実な人柄と 人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と 創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考力・判断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	人体の基本的構造の理解										
2.	人体の機能と構造の相関の理解										
3.	人体の各系統のつながりの理解										
4.	自分自身の身体と知識の整合性の理解							○	◎		
5.	自分自身の身体と環境との関係性の理解					成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験（90%） 質問への対応（10%）					
毎回、最初にその日の講義の講義の目標を示す。 毎回、最後に講義の要点のまとめを行う。 毎回、前回の重要点を質問する。											
課題等への対応						授業外学修時間					
前回のまとめに対する質問を毎回行なうので、準備しておく。						予習と復習あわせて1時間					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
第1回	細胞と組織					細胞内小器官を予習し、4大組織について整理を復習する					
第2回	体液					細胞内液と外液の意味を予習し、4大組織の整理と理解のために復習する					
第3回	血液					血漿の組成と血液細胞について確認の復習をする					
第4回	赤血球と酸素解離曲線					復習として酸素解離曲線を作図し、説明できるようにする					
第5回	白血球と免疫					白血球の分類を予習しておき、獲得免疫について復習する					
第6回	心臓の構造と機能					刺激伝道系について復習しておく					
第7回	循環と血圧					血管の分類を予習し、血圧の調節について復習する					
第8回	呼吸器					呼吸の調節について復習する					
第9回	消化器 I 消化管					咀嚼と嚥下について予習しておく					
第10回	消化器 II 付属器					胃と小腸の働きを復習してまとめる					
第11回	排泄と酸塩基平衡					ネフロンを図とともにまとめる復習をする					
第12回	内分泌					各ホルモンの産生臓器・標的・作用を表にまとめる復習をする					
第13回	生殖					性周期について理解の確認をするための復習をする					
第14回	中枢神経					脳の種類を調べておく					
第15回	抹消神経					脳神経と脊髄神経をまとめる復習をする					
試験	定期試験を実施する										
教科書	「人体の構造と機能①解剖生理学」 ナーシンググラフィカ最新版 メディカ出版					受講生への メッセージ	健康の維持や病気の話題に直面した時、理解しようとする姿勢が大切です。				
参考書等	なし										